

創業者精神

儲かるからではなく、
世の中の役に立つからやる

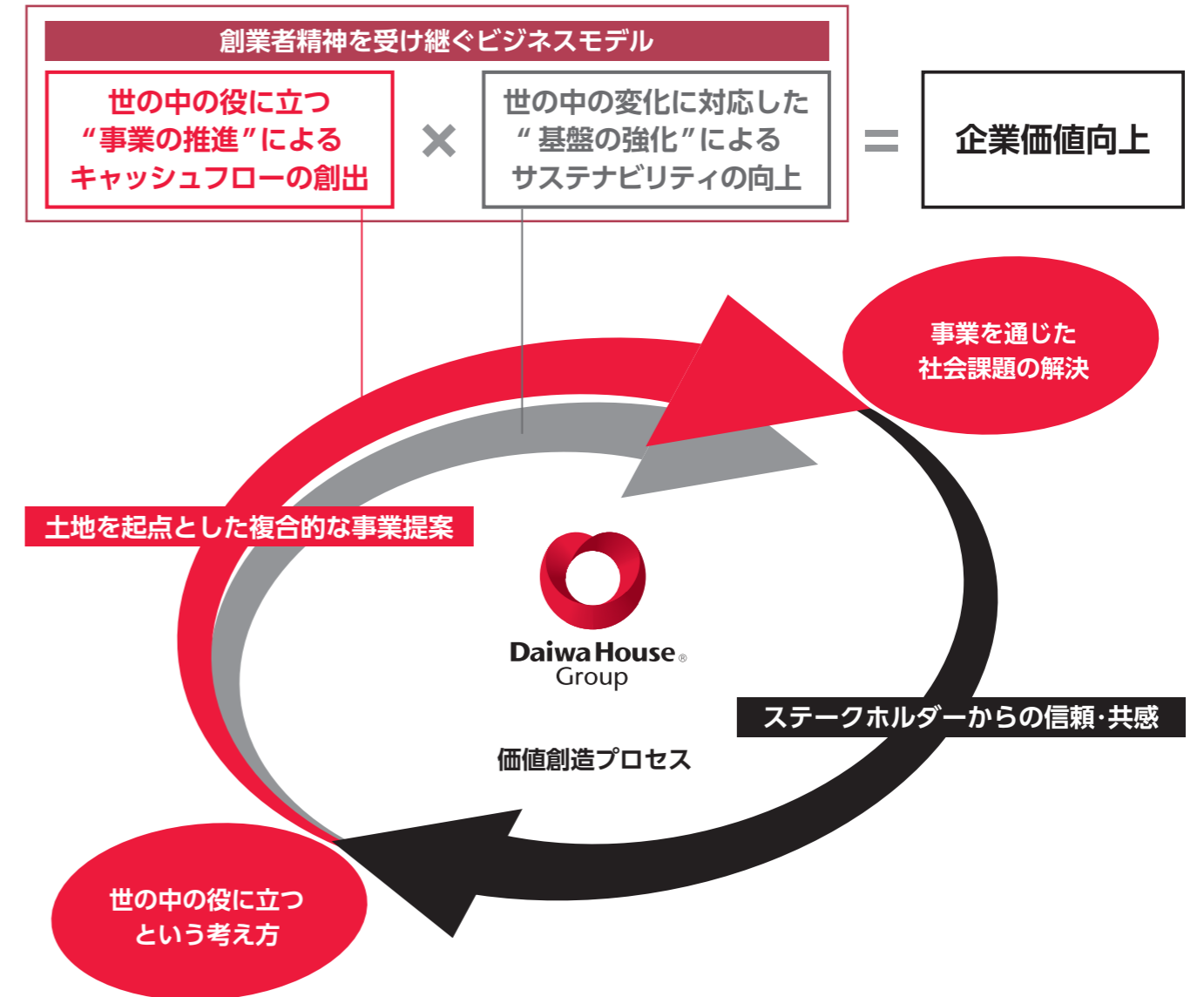


創業者・石橋信夫(1921～2003年)

価値創造の考え方

(大和ハウスグループの基本姿勢)

共に創る。共に生きる。

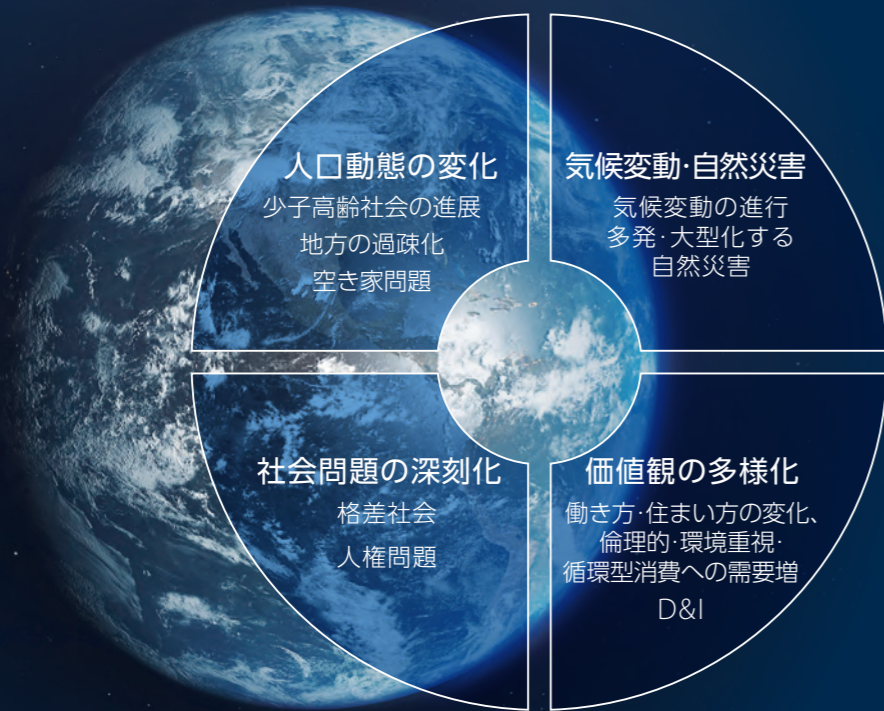


「何をしたら儲かるかという発想でことにあたるな。
どういった商品が、どういった事業が世の中のためになるかを考える。会社は社会の公器やからな。」

1955年の創業以来、石橋信夫が常に社員に語っていたこの言葉を原点に、
わたしたちはいつの時代も常に新しい価値を提供してきました。

2005年 創業50周年にグループシンボル「エンドレスハート」を制定。
「共に創る。共に生きる。」は大和ハウスグループの基本姿勢であり、
価値創造の考え方を示しています。

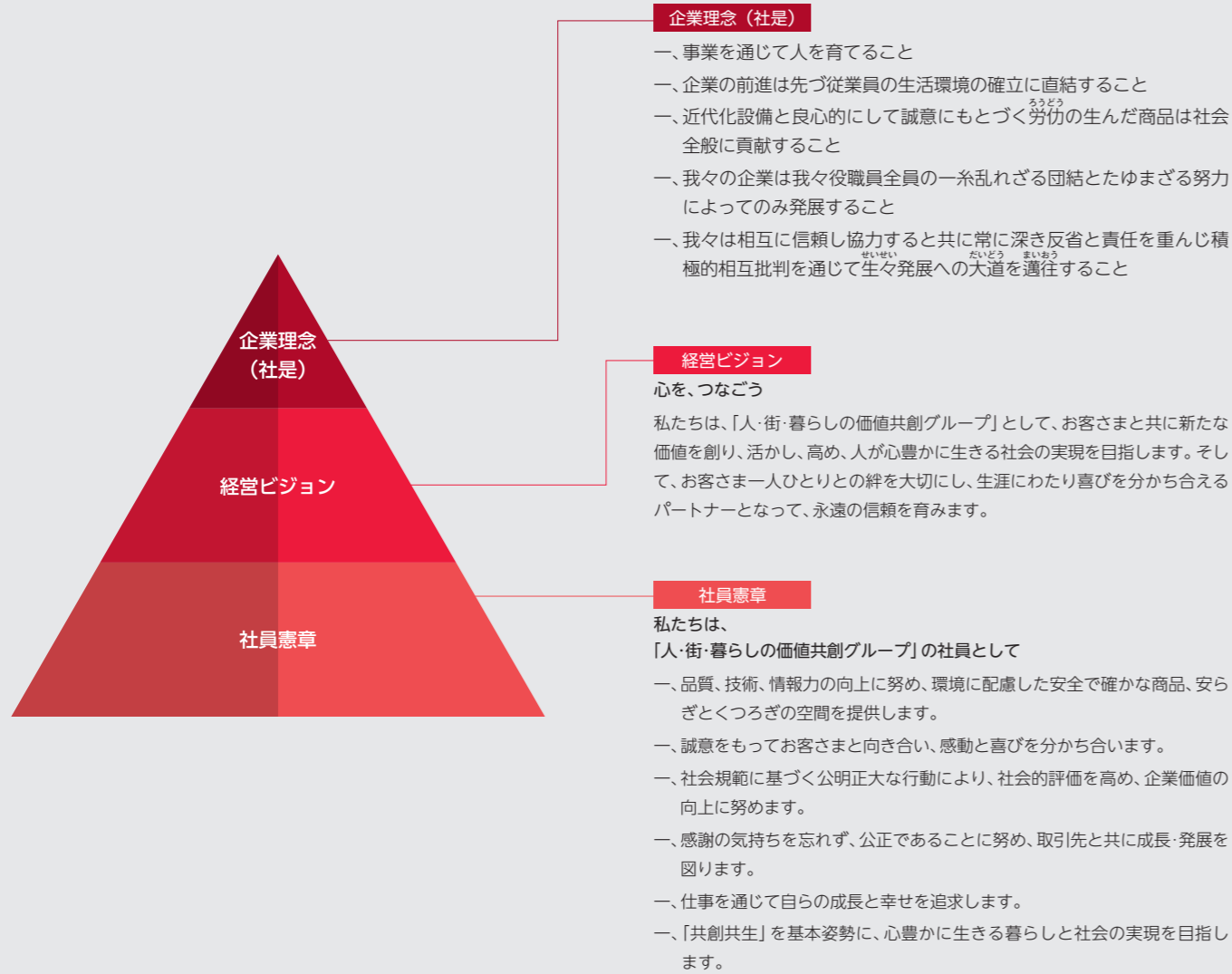
土地を起点とした複合的な事業提案力を強みに、
創業者精神を受け継ぐビジネスモデルで、世の中の課題解決へ導き、
ステークホルダーからの信頼・共感を得ながら、
企業価値を向上させています。



大和ハウスグループが 世の中の課題を解決する

「生きる」ことに真摯に向き合い、新しい価値を創出します





編集方針

本書は、株主・投資家をはじめステークホルダーの皆さまに向けて発行しています。大和ハウスグループの価値創造ストーリーにおいて、事業戦略や財務戦略といった財務情報と私たちが考える本源的企業価値に関する非財務情報を統合し、そのプロセスに欠かせない3つの経営資源(人財、顧客、技術・ものづくり)や強みである複合的な事業提案力をご紹介しながら、創業者精神を軸とした経営ビジョンの実現に向けた取り組みをまとめています。

参考にしたガイドライン

本書の制作においては、IIRC「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイダンス」を参考にしています。

報告の範囲

本書は、大和ハウス工業を中心に大和ハウスグループ全体(2021年3月31日現在、連結子会社381社、持分法適用関連会社61社、持分法非適用関連会社1社)について報告しています。

財務数値およびグラフの表示に関する注意事項

記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。特に記載がない財務数値については、2020年度もしくは2021年3月末時点の数値となっています。

将来予測記述に関する特記

本書には当社グループの見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、現在入手可能な情報から得られた判断に基づいています。実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



CEOメッセージ P.07 CFOメッセージ P.31

Chapter 1	CEOメッセージ	
	CEOメッセージ	07
Chapter 2	価値創造ストーリー	
	大和ハウスってどんな会社？	13
	大和ハウスの「人・街・暮らしの価値共創グループ」としての歩みは？	15
	事業の推進にあたり競争力を生む大和ハウスグループの強みは？	17
	大和ハウスグループを支える価値創造の源泉は？	19
	企業価値向上を目指すうえで重要なことは？	21
	価値創造プロセス	23
	大和ハウスグループが目指す未来は？	25
	マテリアリティと機会・リスクの関係性	27
	主な機会とリスクへの対応	29
Chapter 3	CFOメッセージ	
	CFOメッセージ	31
	資本政策の基本方針	34
Chapter 4	事業本部長メッセージ	
	事業本部長メッセージ	35
Chapter 5	事業の推進	
	事業別概況	39
	戸建住宅事業	40
	賃貸住宅事業・マンション事業	41
	住宅ストック事業・商業施設事業	43
	事業施設事業・大和ハウスグループの不動産開発	45
	その他事業	47
	大和ハウスグループの海外展開	49
	DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み	51
Chapter 6	基盤の強化	
	ESGの取り組み	53
	環境への取り組み	55
	社会の取り組み	61
	経営体制・社外取締役メッセージ	67
	業績・企業情報	
	財政状態および経営成績等の分析	80
	財務ハイライト	85
	非財務ハイライト(中期計画の主な実績と目標)	87
	会社概要	89
	編集後記	90

